

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2020.11.17

京大病院医療安全情報128

【皮下埋込型中心静脈ポート：画像検査】

※ 皮下埋込型中心静脈ポート = CVポート

事例 ① 患者記録カードを持っていなかった

当院でCVポート留置された外来患者に造影CT検査を実施しようとしたが「患者記録カード」を持っていなかった。患者から『ポートは当院で挿入したものであるため「患者記録カード」がなくても検査できると言われたので持ってこなかった』と発言があった。X線撮影により製品の種類が特定でき、高圧注入対応製品であると判明した。X線撮影に伴い、追加の放射線被ばくと追加料金が発生した。

事例 ② 高圧注入非対応のCVポート

造影CT検査予定の患者。他院でCVポートを留置しており製品名が不明であり、患者は「患者記録カード」を持っていなかった。当院医師のカルテには、造影剤対応可のポートであると記載があった。検査室でポートを触知したところパルペーションポイントが確認できず、高圧注入に対応していないCVポートであることが判明した。

事例 ③ 高圧注入非対応のヒューバー針

コアレスニードルセットをCVポートに留置した状態でCT検査室へ来室。ポートから造影検査してほしいと希望があったため、留置されていたコアレスニードルセットを抜針し、パワーロック針（高圧注入専用針）を留置した。

事例 ④ MR非対応のヒューバー針

コアレスニードルセットをCVポートに留置した状態でMR検査室に来室。

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報128

【 正しく知ろう！ CVポートの特徴 】

1. ポートには様々な種類があり、高圧注入に対応しているポートと、対応していないポートがあります
2. 高圧注入に対応していない製品で造影検査を行うと、ポートが体内で破損する可能性があるため、放射線部は慎重に対応します
3. 放射線部で高圧注入に対応している製品であることを確認した後に、針の穿刺・造影剤注入を行います
4. 高圧注入は、パワーロック針のみ対応です
5. コアレスニードルセットはMR非対応、パワーロック針はMR対応です
6. パワーロック針は、放射線部限定器材です
7. パワーロック針は、あらかじめ業者から説明を受けた医療者のみ取り扱うことができます

CVポートから造影検査を予定する場合

- 「患者記録カード（又はブレスレット）」を検査当日持参し、検査時に見せるよう、患者にご説明ください
- コアレスニードルセットは、抜針してから出棟させて下さい



放射線部は、以下の方法で製品の耐圧を確認できない場合、高圧注入できない製品と判断し、CVポートを使いません。

必ず2つ以上の項目で確認する

どちらか	患者記録カード 	カルテ用ステッカー <p>当院留置の場合は、手術部看護師がスクナ保管しています</p>	触知 パルペーションポイント <p>三角形 </p>
	ブレスレット 	X線写真 <p>CTマーカー</p>	



パワーロック針

当院は以下2項目での確認を、基本ルールとしています

- 患者記録カード
- 触知